

Travel & Support

Action 新しい旅への参加



「旅サポーター」になるには？

久保田 牧子
NPO 高齢者・障がい者の旅をサポートする会 & NPO 東京ユニバーサルツーリズムセンター・理事長
構成：『めづるくらし』研究会 編集部



イラスト：堀口 順一郎

「NPO 法人高齢者・障がい者の旅をサポートする会」では、高齢者や障がい者有する方々の旅（外出を含む）をサポートするために、「旅サポーター」を育成、認定しています。

「旅」は誰にでもサポートできるものではありませんが、サポートをしていただく方々には、サポートを利用される方々やそのご家族、周りの方々に安心してゆだねていただくために「旅サポーター」の養成講座を受けていただいております。

年2回（3月、8月予定）、定期的に養成講座を開催でき、「旅サポーター」も現在300名を超えました。ご利用者に関しましては、年々、新規利用の方やリピーターの方々が増え、特に東京着地でのサポートが多くなっています。ご利用者様のご要望にきめ細かく応じるためにも、多くの方に仲間になっていただきたいと思います。

NPO も今年で13年。少しずつ私たちの活動も知られるようになりましたが「旅サポーター」は、まだまだ足りない状態です。

多くの方々に、旅の同行者として「旅サポーター」になっていただきたいのです。高齢者・障がい者などが行きたいと思ったときに行きたい場所へ、安全に安心して旅（外出を含む）に出かけられる社会ができることを目指しましょう。そのために私たちはできる限りのお手伝いをしています。

「旅サポーター」への道

- ①「NPO 高齢者・障がい者の旅をサポートする会」の会員登録をします。（「養成講座」当日でも可）
- ②「旅サポーター養成講座」に申し込みます。
- ③「養成講座」は、年2回、各2日間の日程で開設しています。
- ④認定後は、ベテラン「旅サポーター」から実地の指導・研修を受けます。
- ⑤会のサポート募集にエントリーし、サポート活動を行います。



▼費用
「養成講座」受講料
（内、認定料 ¥2,000）
¥ 14,000
ボランティア保険
¥ 300（初回は無料）

着地サポート利用のメリットとは!?



「旅サポーター」利用の「手続きと料金」

▼ 会員制

〈旅サポート〉の様々なサービスや情報活用、〈旅サポーター〉に参加、利用するためには会員制をとっています。

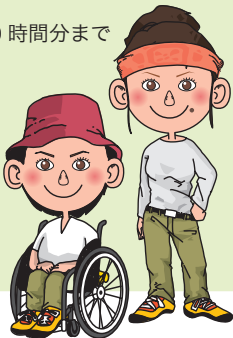
入会金＝正会員：¥ 5,000 / 賛助会員：¥ 3,000
年会費＝正会員：¥ 3,000 / 賛助会員：¥ 2,000

▼ 〈旅サポーター〉利用の費用

〈旅サポーター〉の利用に対する支払いは、1日10時間分までとしています。

▼ 基本負担額

1. 〈旅サポーター〉の集合場所（着地）までの往復交通費：
（¥1,500以内の場合） ¥1,500
（¥1,500を超える場合） 実費
2. NPO 事務費
（〈旅サポーター〉1人/1日について） ¥1,000



3. 〈旅サポーター〉利用料金：（1人/1時間）¥ 800
*…最高利用限度額：（10時間まで）¥ 8,000
*…宿泊が生じる場合は、初日の1日分（10時間）に加えて、2日目以降も1日10時間とみなします。
4. 同行中の旅費：実費
（交通費、宿泊費、施設利用費、入場料、食費など）

▼…旅行会社経由でのサポート依頼の場合はご相談ください。

お問い合わせ：

NPO 高齢者・障がい者の旅をサポートする会

e-mail：mail@tabisupport.org

HP：http://www.tabisupport.org

TEL：070-5081-7404 FAX：03-6300-9191

『めづるくらし』研究会

HP：http://meduru.webcrow.jp/

e-mail：medurukurashi@gmail.com

『めづるくらし』研究会は、
神奈川県内に
専門の「旅サポーター」育成と、
新しい地域密着の団体設立を
目指しています。

参加希望、体験、ご相談、
お問い合わせは、コチラへ

久保田 牧子：NPO 高齢者・障がい者の旅をサポートする会 & NPO 東京ユニバーサルツーリズムセンター・理事長

1945年東京生まれ。玉川大学を卒業後、婦人誌「婦人生活」、在宅介護誌「やさしい手」「かいこの学校」の編集を経て、高齢者や障がい者がいきいき暮らすための「旅」をテーマに、「NPO 高齢者・障がい者の旅をサポートする会」を2007年に設立。2015年「NPO 東京ユニバーサルツーリズムセンター（東京UTC）」を設立、理事長を兼務。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向かって、「NPO 日本ユニバーサルツーリズム推進ネットワーク」とともに連動し、より専門的な情報サポート、旅のプロデュースを行っている。

〒153-0064 東京都目黒区下目黒 4-23-24
HP：http://www.tabisupport.org

▼主な受講者として、

- ・介護士（ヘルパー含む）、看護師などの福祉関連事業者、有資格者、経験者。または専門学校生など。
- ・家族（親・兄弟・親族など）の介護経験があり、その経験を活かしたいと思っている人。

また、福祉について未経験者、初心者の人でも、福祉や旅サポーターに興味のある人、高齢者、障がいのある人への旅や活動に参加したい人、興味がある人、など、様々な人が参加されています。

